

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「時の駅」発“ふるさと高森再発見の旅”
事業主体 (連絡先)	高森町
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,997,000 円

事業内容

- ◆小和田哲男氏講演会・松岡城跡を歩く会  
直虎や亀之丞にかかわる講演会と、松岡城跡を歩く会を行い、地域の歴史を学ぶ場を提供した。
- ◆子どもに伝えたい高森町の年中行事冊子刊行  
500部刊行、小中学生に配布し、年中行事に理解を深め、積極的に参加してもらおうようにしていく。
- ◆文化財マップ改訂  
10,000部発行。小中学生には今後も継続配布して活用してもらい、地域の歴史文化に関心理解を深め、大切にもらう。



【小和田哲男氏講演会】

事業効果

- ①大河ドラマの時代考証を担当した小和田哲男氏を講師に招き講演会と松岡城跡探索を行った。講演会には200名の参加があり、井伊直虎と亀之丞はじめ、井伊氏と松岡氏について深く学ぶことができた。城跡探索には60名が参加して、松岡城の歴史や構造について学んだ。松源寺や松岡城跡、松岡氏などについて、地元でも知らない人たちがいる中で、講演会や現地学習会を通してそれらに関心が高めることができ、地元で地域の歴史に対して理解を深めることができた。
- ②冊子『子どもに伝えたい高森町の年中行事』の刊行、『文化財マップ』改訂で、高森町の伝統行事・文化・文化財に対しての、最新の、そして分かり易い情報を発信した。未来の高森を担う子どもたちには、ふるさと高森に対しての認識が深まり、伝統行事、文化財、伝統芸能などに積極的にかかわってもらえると

【目標・ねらい】

- ①地域の歴史等を学ぶ場を提供することで、自ら積極的に学び合い関心を高める。
- ②地域の歴史・文化財等の最新情報を発信して、理解を深めてもらう。

※自己評価【 B 】

【理由】

- ◆講演会や現地学習会を通して松源寺や松岡城跡、松岡氏などについて関心が高めることができ理解が深まった。高森町への来町者も増え、活性化につながった。
- ◆子どもたちへ配布した冊子やマップについては、活用方法を考えていくことがこれからの課題である。

今後の取り組み

- ◆私たちの生活様式の変化や社会的状況の変化の中で、失われつつある年中行事。冊子『子どもたちに伝えたい高森町の年中行事』は、それらを分かり易くまとめたものである。学校を通して小中学生に配布し読み深めてもらうことで、改めて年中行事のいわれやその意義について理解してもらい、現在も行われている行事へ積極的にかかわってもらえるようにしたい。
- ◆最新の情報を加えた『文化財マップ』も小中学生に配布し、社会科の地域学習や歴史学習に役立ててもらおうようにしたい。(毎年小学校6年生に配布する予定) また、各地区へも配布し、身近な文化財に興味関心を持ってもらい、地域の大切な文化財の保護意識を高めていくようにしたい。

